



▲始良校区・始良高齢者福祉センター（参加者16人）

第8回 議会と語る会

皆さんのご意見は、予算審査や市政に活用



▲柁城校区・下新道公民館（参加者43人）

（柁城校区）
下新道公民館

質問 車いすの必要な高齢者や障がい者が、JRを安心・安全に利用できるよう、加治木駅にエレベーターの設置を働きかけて欲しい。

回答 JRのバリアフリー化の条件として、1日3000人以上の乗降客と、市からJRへの要請があります。現在、本市はJR・県と協議中です。



▲蒲生校区・迫地区いきいき交流センター（参加者17人）

質問 倒壊寸前の空き家に対する迅速な対応をできないか。

回答 今年度、空き家等対策計画の策定や空き家の実態調査を行い、所有者等の確認作業を進めています。

質問 本市では、政務活動費はないと、ホームページに出ている。他の市町はどうなっているか。

回答 本市は、財政状況が厳しい状況です。県内



▲加治木駅にエレベーター設置を要望

始良市議会では、開かれた議会をめざして、市民の皆さまに議会の活動状況をお知らせし、皆さま方からのご意見を市政に反映させるため、「議会と語る会」を実施しています。

第8回目の「議会と語る会」は、11月5日（土）昼に始良高齢者福祉センター、6日（日）昼に迫地区いきいき交流センター、夜に下新道公民館で実施し、今回は76人（前回70人）の市民の皆さまの参加がありました。

各委員会で作成した資料について説明の後、市政全般にわたって意見交換がなされ、参加者から生活に身近な話題や市政へのご意見やご要望をいただきました。

主な質問や意見

（始良校区） 始良高齢者福祉センター

質問 始良地区の郷土芸能の掘り起こし、郷土愛を育む行事育成を検討できないか。

回答 伝統行事は各地にあり今後も受け継いで行くべきです。帖佐十九日馬踊りも復活し浜下りもあり、議会も協力していきます。

質問 始良校区は流入人口が多く、校区コミュニティが取り組み始めています。

質問 山野踏切の請願採択後全く動きが無い。

回答 山野踏切は、JRとの交渉に入っています。相手があることで余計に時間がかかります。現在調整中とのことでした。

（蒲生校区・迫地区） いきいき交流センター

質問 くすの湯の湯量が少なく、ぬるく、故障が多い。泉源掘削から完成まで、いつになるか。

回答 県から泉源の掘削許可が下り、入札で業者も決定し、28年度末の泉源確保を目途に契約しました。

質問 財政は大変な時だが政務活動費はしっかりとつけ、おおいに勉強してほしい。そのことが市民の幸せにつながるのでは。

回答 現在、政務活動費に関して調査しています。県内ほとんどの市議会には、政務活動費があります。この時期だからこそ厳しい目でルール作りが出来ると思います。調査・検討後、市民の皆様にご報告します。

質問 昔は、川で魚が捕れた。川の水量が減っている。水源確保が必要ではないか。

回答 川に入って魚を捕ったりしながら、自然を感じることで自然環境の保護につながります。また、皆さんが山に行かなくなると、共存しなくなっています。これから行政と一緒に対策を講じます。

の政務活動費は、霧島市月3万円、薩摩川内市1万5千円、鹿屋市2万円、日置市1万3千円となっております。

アンケートから

○参加者が少ない。市民に対する周知の方法を検討する必要があるのではないではないか。

○自治会の要望を活かせる議員活動を望む。

○議員と有権者との結びつきを深め、声をかけて要請することも必要ではないか。

○市営プール設置は、若い人たちの流出の防止や市民の健康増進につながり医療費が抑えられる。

○市営プールの設置は、議員・議会としての考えを明確に示し、議会活動を通じて今後どのように取り組んでいくか語ってもらいたい。

○気になっていた政務活動費の事が良くわかった。

○意見交換の時間が足りない、始良市の夢を語る会をもっとほしい。

○議会の動きが少し理解できた。議員報酬改定も説明するべきである。

○始良市の政務活動費がないことを初めて聞いた。

紙面に掲載した質問・提言は、一部を抜粋したものです。地域の課題を含め、多くの意見をいただきました。市民の皆さんのご意見は、執行部にしっかりとつなぎ、予算審査や市政運営に活用していきます。